

## 7-5 静岡県てんかん地域診療連携体制整備事業－3 年間と

### 今後の取り組み

国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター 井上 有史

#### まとめ

適切な診療が受けられるように拠点機関の診療体制を整備しつつ、より多くの患者の方が地域において適切な支援が受けられる様な医療ネットワークの整備を、行政と協力しながら目指し、多くの種々の職種に対する研修とてんかん診療医療連絡協議会を通じて静岡県内のてんかんに対する診療連携体制を強化し、市民公開講座と個別相談、相談体制の充実とてんかん診療支援コーディネーターの配置により、患者と家族に対する相談支援、てんかんに関する正しい知識の普及啓発などを行った。

#### 1. 概要

本院が『てんかん診療拠点機関』として静岡県より指定された平成 27 年 11 月 27 日から事業開始し、静岡県内のてんかんに対する診療連携体制を強化するとともに、患者や家族の支援を含めた総合的な支援体制を県内で整備することを目的とし下記の事業を実施している。

- ・てんかん診療支援コーディネーター 1 名の配置
- ・医療機関相互の診療連携体制（ネットワーク）の強化
- ・患者と家族に対する相談支援
- ・てんかんに関する正しい知識の普及啓発など

より多くの患者の方が地域において適切な支援が受けられる様な医療ネットワークの整備を、行政と協力しながら目指している。

#### 2. 活動状況

##### 1) 拠点機関の体制

##### ①てんかん診療支援コーディネーターの配置

精神保健福祉士 1 名を配置し、以下を業務とした。

- ・医療機関への支援
- ・関連機関との連携
- ・患者・家族への支援
- ・県民への支援
- ・その他関係機関との連携・調整など

##### ②相談体制

専用電話回線（てんかんホットライン） 365 日体制を活用して、午前 9 時～午後 5 時迄専任者が対応、午後 5 時～午後 10 時の時間帯及び土曜・日曜・祝日は当直看護師長が相談業務に対応している。医師、薬剤師、ソーシャルワーカーがバックアップ体制を構築している。メールによる相談には、内容に応じた職種が回答している。

##### ③治療体制

初診外来を1日3枠設け、小児科・精神科・神経内科・脳外科のバランスを考慮した3名の医師が最大1日7名対応している。脳神経外科医のてんかん外科手術の実施、小児科・精神科・神経内科・脳外科・リハビリ科などによる集学的治療、長時間脳波検査専用の脳波計による長期脳波ビデオ同時記録検査などの実施、CT、SPECT、MRIによる画像診断などを行っている。

## 2) 研修

医療関係者（医師、看護師、臨床検査技師、栄養士等）だけでなく、福祉、教育職、その他の関係する専門職にたいし、多数の研修を行っている。

また、脳波の検討会を静岡地区と中部地区で定期的に行っており、平成29年度は8回で、全体で165名（医師105名、臨床検査技師60名）であった。

## 3) 普及啓発活動

西部地域、中部地域、東部地域の3つに分けて県民向け・患者向けに、公開市民講座と個別相談を行っている。

### 27年度

開催日	研修会名称	対象者	研修内容	参加者数
2015年11月17日	臨床検査技師脳波検査セミナー	臨床検査技師	脳波検査の実態、脳波判読、てんかん発作時の対応	16
2016年11月15日	てんかん学研修セミナー	小児患者担当医師	小児てんかん診療の包括的医学的アプローチ	38
2016年2月29日	第37回てんかん専門職セミナー	医師、福祉、教育職	成人専門職に必要なてんかんの知識	51
2016年3月27日	てんかんに関する医師・看護師等研修会	県内医師、看護師	成人を過しててんかん発作、失神等の非てんかん発作についてビデオ映像を中心とした研修	45

### 28年度

開催日	研修会名称	対象者	研修内容	参加者数
2016年6月8日	てんかん基礎研修	特別支援学校対象	てんかんの基礎知識、対応方法について	30
2016年6月12日	てんかん食育ワークショップ	医師、栄養士、看護師、その他関係する人（専門職等）	てんかん食の普及、質の向上、課題検討を目的として	51
2016年8月3日	第36回てんかん専門職セミナー	医師、福祉、教育職	小児専門職に必要なてんかんの知識	52
2016年8月26～27日	てんかん学研修セミナー	成人患者担当医師	成人てんかん診療の包括的医学的アプローチ	38
2016年10月9日	てんかんに関する医師研修会（てんかん教育入門コース）	医師（中部）	てんかんに関する最新技術・知識の習得	44
2016年10月13～14日	てんかん看護セミナー	看護師	てんかんに関する最新技術・知識の習得	35
2016年11月16日	臨床検査技師脳波検査セミナー	臨床検査技師	脳波検査の実態、脳波判読、てんかん発作時の対応	15
2016年11月28日	てんかんに関する医師・看護師等研修会	県内医師・看護師等（西部）	てんかん診療に役立つ知識	27
2017年1月13～14日	てんかん学研修セミナー	小児患者担当医師	小児てんかん診療の包括的医学的アプローチ	40
2017年2月16日	第36回てんかん専門職セミナー	医師、福祉、教育職	成人専門職に必要なてんかんの知識	49
2017年3月11日	てんかんに関する医師・看護師等研修会	県内医師・看護師等（東部）	てんかん診療に役立つ知識	50

※は、病院独自実施

### 29年度

開催日	研修会名称	対象者	研修内容	参加者数
2017年8月3日	第40回てんかん専門職セミナー	医師、福祉、教育職	小児専門職に必要なてんかんの知識	51名
2017年8月25～26日	てんかん学研修セミナー	成人患者担当医師	成人てんかん診療の包括的医学的アプローチ	38名
2017年10月7日	てんかんに関する医師看護師等研修会	県内医師・看護師等（中部）	てんかん診療に役立つ知識と	25名
2017年10月19～20日	てんかん看護セミナー	看護師	てんかん看護に必要な最新の技術・知識	35名
2017年11月8日	臨床検査技師脳波検査セミナー	臨床検査技師	脳波検査の実態、脳波判読、てんかん発作時の対応	14名
2017年1月12～13日	小児てんかん学研修セミナー	小児患者担当医師	小児てんかん診療の包括的医学的アプローチ	32名
2017年1月13日	てんかんに関する医師看護師等研修会	県内医師・看護師等（西部）	てんかん診療に役立つ知識	37名
2017年2月15日 予定	第41回てんかん専門職（成人）セミナー	医師、福祉、教育職	成人専門職に必要なてんかんの知識	
2017年2月24日 予定	てんかんに関する医師看護師等研修会	県内医師・看護師等（東部）	てんかん診療に役立つ知識	

### 脳波検討会（寺田医師が静岡市と中部地区において定期的開催）

検討会名	開催年月日	開催場所	合計参加人員	医師	検査技師等
H26年度					
第1回 静岡地区脳波検討会	H29.2.15	静岡県立総合病院	25	17	8
		H26年度 参加人数	25		
H28年度					
第1回 中部地区脳波検討会	H28.10.12	島田市民病院	17	10	7
第2回 中部地区脳波検討会	H29.1.18	焼津市立総合病院	13	11	2
		H26年度 参加人数	30		
			55	38	17
H29年度					
第2回 静岡地区脳波検討会	H29.5.25	静岡赤十字病院 研修室1	38	25	13
第3回 静岡地区脳波検討会	H29.8.3	静岡済生会総合病院	34	22	12
第4回 静岡地区脳波検討会	H29.11.10	静岡県立総合病院	26	14	12
第5回 静岡地区脳波検討会（予定）	H30.2.22	静岡赤十字病院	0		
		H29年度 参加人数（静岡地区）	98	61	37
H29年度					
第3回 中部地区脳波検討会	H29.4.12	藤枝平成記念病院	10	10	0
第4回 中部地区脳波検討会	H29.7.25	藤枝市立総合病院	17	11	6
第5回 中部地区脳波検討会	H29.10.18	島田市民病院	18	11	7
第6回 中部地区脳波検討会	H30.1.24	焼津市立総合病院	22	12	10
		H29年度 参加人数（中部地区）	67	44	23
		H29年度 参加人数（全体）	165	105	60

### 3. 成果

#### 1) 相談実施結果

月平均相談件数は13%程減少している。

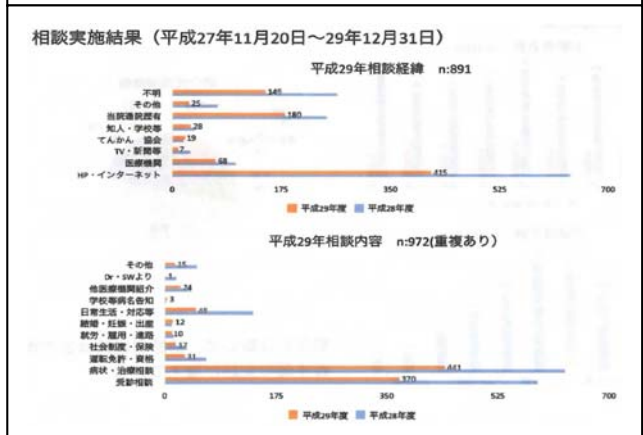
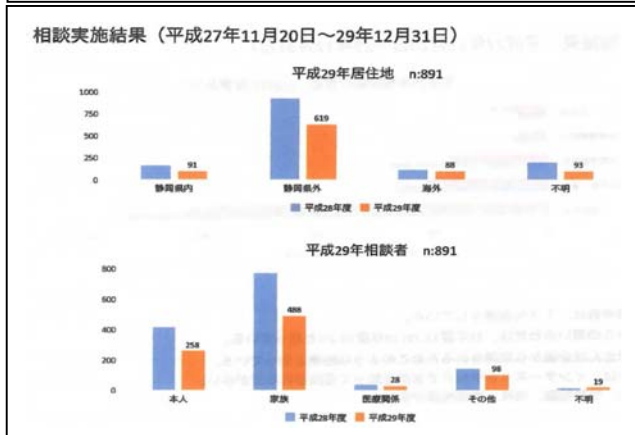
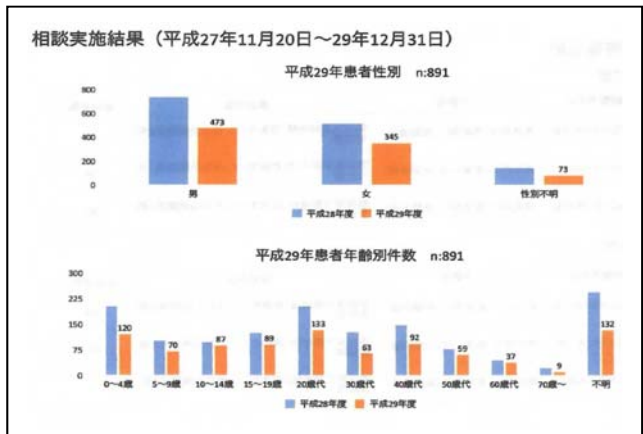
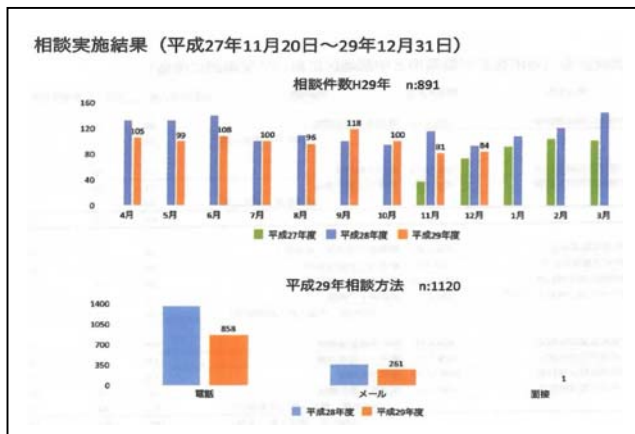
静岡県内からの問い合わせは、28年度11.7%、29年度10.2%となっている。

当院の患者さんは全国から来院されるためこのような結果となっている。

相談経緯では、インターネットやHPで当院を知って相談される方が多い。

相談内容は、受診相談、病状・治癒相談が多い。

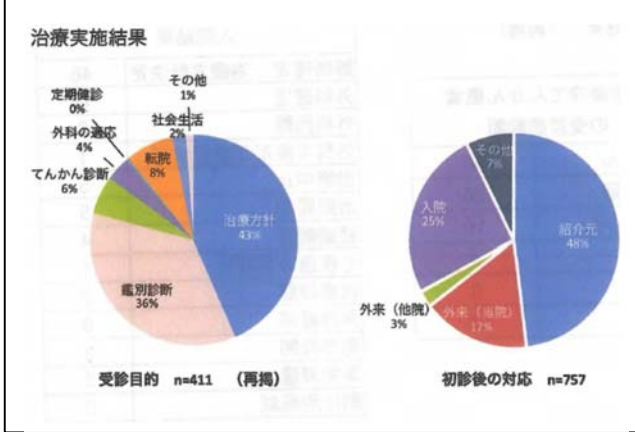
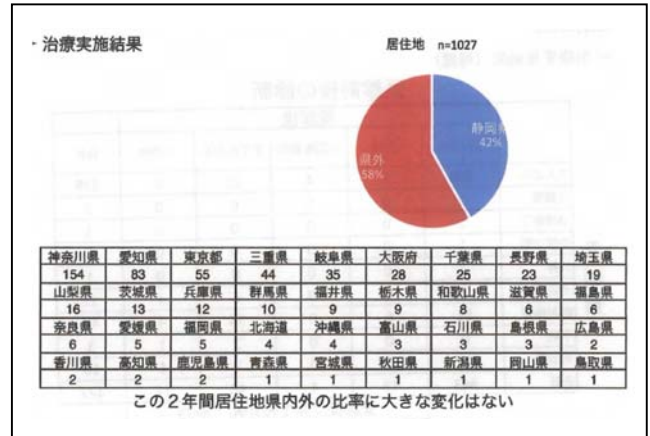
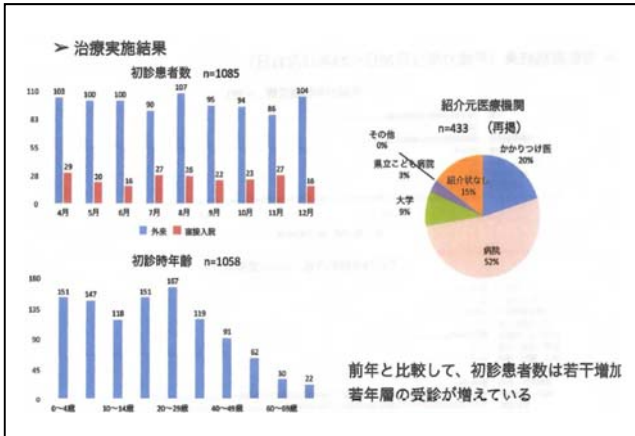
普及啓発活動			
28年度			
開催予定日	対象者	啓発内容	参加者数
平成29年1月15日	県民向け・患者向け(西部地域)	静岡県西部地域(豊田市)で、市民公開講座と個別相談	28
平成29年2月28日	県民向け・患者向け(中部地域)	静岡県中部地域(静岡市)で、市民公開講座と個別相談	56
平成29年3月11日	県民向け・患者向け(東部地域)	静岡県中部地域(沼津市)で、市民公開講座と個別相談	50
29年度			
開催予定日	対象者	啓発内容	参加者数
平成29年10月15日	県民向け・患者向け(中部地域)	静岡県中部地域(静岡市)で、市民公開講座と個別相談	104
平成30年1月21日	県民向け・患者向け(西部地域)	静岡県中部地域(浜松市)で、市民公開講座と個別相談	50
平成30年2月25日	県民向け・患者向け(東部地域)	静岡県中部地域(沼津市)で、市民公開講座と個別相談	



#### 2) 治療実施結果

- 2017年4月～12月の初診患者1,085名で、前年と比較して、若干増加し、若年層の受診が増えている。この間の入院は18,967名であった。
- 居住地は県外が多く(58%)、この2年間居住地県内外の比率に大きな変化はない。隣接する神奈川、愛知が多く、次いで東京、三重が多い。
- 受診目的は治療方針43%、鑑別診断36%、初診後の対応は紹介元へ戻す48%、入院25%、当院外来17%で、この3年間受診目的、初診後の対応に大きな変化はない。
- 422名の分析では、受診後に非てんかんと診断されたものは79名(19%)であった。





治療実施結果 (再掲)

受診前後の診断

	受診後					合計
	てんかん	失神	心因性発作	非てんかん	その他	
てんかん	303	6	4	22	4	339
片頭痛	2	0	0	0	0	2
治療終了	1	0	0	0	0	1
治療中断	1	0	0	0	0	1
失神	1	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	6	4	12
診断保留	21	6	0	16	4	47
不明	0	0	0	2	1	3
未治療	12	1	0	2	1	16
合計	343	13	4	48	14	422

受診後：非てんかん n=79

3) 研修会のアンケート実施結果  
(ご意見・ご希望)・・・H29年度分

- ・対処法等(発作時の)教えていただけるとありがたい。
- ・てんかんは奥が深い、もっと学習しなくてはと思った。
- ・もう少し詳しく講義をききたいので、次回、勉強会などあれば参加してみたいと思った。

(今後取り上げて欲しいテーマ)

H28年度：1位. てんかんの日常生活指導、  
2位. てんかんの治療、3位. てんかんの診断

H29年度：1位. てんかんの日常生活指導、2位. てんかんの診断、3位. てんかんの治療

4) 市民公開講座のアンケート実施結果

(ご意見・ご希望)・・・H29年度分

- ・てんかんについて、学校での授業が定着すると良いと思った。(小学校で講義しては?)
- ・てんかんの事例検討や対応の実績等の講座をして欲しい。
- ・同じ病気を持つ親との相談が出来るツールがあるとありがたいです。

(今後取り上げて欲しいテーマ)

H28年度：1位. てんかんの日常生活、2位. こどものてんかん、2位. てんかんの食事療法

H29年度：1位. こどものてんかん、2位. てんかんの日常生活、3位. 大人のてんかん

治療実施結果 (再掲)

受診後非てんかん患者の受診前診断	
てんかん	36
診断保留	26
非てんかん	10
未治療	4
不明	3
合計	79

入院結果	
診断確定、治療方針決定	48
外科確定	12
外科困難	2
外科可能だが希望せず	1
治療中止	5
治療開始	5
経過観察	4
心疾患の可能性	1
状態確認	9
発作軽減	9
発作抑制	3
薬物減量	3
副作用軽減	2
包括的支援	2
合計	106

## 4. おわりに

### 1) 要望

てんかん初診患者には、1名あたり数時間とかなりの時間を要しているため、1日数名の初診患者しか対応できない現状であることから、「てんかん診療拠点機関」としての診療報酬上の加算の新設を要望する。

- ・例えば、初診患者の診療において、拠点病院加算（〇〇〇点）のようなものの新設
- ・診療所等からの初診紹介患者を診療し、病名確定・診療方針の提供など治療連携計画を策定して、診療所等に返す場合の指導料を新設

### 2) 課題

・各都道府県の医療計画においててんかんは明確なカテゴリーがなかったが、静岡県では、保健医療計画案に『当院がてんかんの全域拠点機関とし、地域医療連携体制を構築します。』と明記された。しかし、てんかんは精神疾患として扱われているため、「医療計画」並びに「地域医療構想」等において一般病床で運営している当院の立場は、難しい状況にある。

- ・本事業の周知を国が率先して行って欲しい。
- ・本事業では都道府県との委託事業となるため、都道府県内の住民が拠点機関にどれほど相談・受診・診療等したことが成果となる地域密着型病院としての立ち位置が求められるが、当院はてんかんセンターとして規模が大きく広域型病院としての面もあるため、県民の患者も県外の患者も増えることが望ましい。
- ・効果の指標は、拠点病院受診後の診断や治療の変更の有無、その結果の治療効果などを取り入れれば連携の効果がより明らかになる。そのためには年度をまたがった調査も考慮する必要がある。

### 3) 今後の取り組み

- ・当院はてんかん専門医療をはじめて42年の歴史と実績があります。てんかん診療拠点機関に指定され、静岡県（行政）と良好な関係を築き、静岡県内のてんかん地域診療連携体制の構築を目指します。静岡県内、そして全国の医療機関と連携しててんかん診療に積極的に取り組んでいきます。
- ・また、研修会や市民公開講座、個別相談会などてんかんに関する啓発活動についても、（公社）日本てんかん協会、日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会などと連携して、積極的に講師派遣をして啓発活動に努めます。